

感染症情報 3月11日～17日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,197例	(堺市 89例)
②溶連菌感染症	658例	(堺市 115例)
③RSウイルス感染症	365例	(堺市 48例)
④手足口病	104例	(堺市 12例)
⑤咽頭結膜熱	72例	(堺市 1例)

府下307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2,010例(堺市 241例)

報告数による順位。前週比0.6%減の2,474件であった。感染性胃腸炎が府下で前週比3%減、堺市で前週95例→今回89例。溶連菌感染症が府下で7%減、堺市で前週108例→今回115例。今週も堺市は大阪府のブロック別で一番多く、6.05。RSウイルス感染症が府下で19%増、堺市で42例→48例であった。手足口病が府下で22%増、堺市で前週6例→今回12例であった。咽頭結膜熱が府下で12%減、堺市で前週3例→今回1例であった。

インフルエンザが府下で前週2,439例→今回2,010例は前週比18%減であった。堺市で前週251例→今回241例は4%減であった。定点当たり大阪府は7.94→6.55になった。堺市は8.66→8.31であった。

府下307医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,181例(堺市 147例)
大阪府定点 3.85 堺市定点 5.07

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
51	91	108	154	92	85	105	129	90	128	148	1181

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,333例→今回1,181例は11%減、定点当たり4.34→3.85となった。堺市で前週148例→今回147例は1例減、定点当たり5.10→5.07であった。

風疹の報告なし。ブロック別として北河内、中河内、泉州地区で各1例、大阪市地区で2例、合計5例の麻疹の報告があった。